

○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(令和4年12月実施):65歳以上7,500人(要介護1から5の方を除く)、40歳~64歳1,000人(同)※調査結果は65歳以上  
 ○在宅介護実態調査(令和4年12月実施):在宅の要介護・要支援認定を受けている方1,500人 回収率:41.5%(前回 46.8%)

回収率:65歳以上:58.4%(前回65.0%) 前回:令和元年度  
 40歳~64歳:35.8%(前回48.2%)  
 全体:55.8%(前回63.1%)

1 ~ 9:ニーズ調査  
 10~13:在宅介護実態調査

1 リスク該当者の状況

資料2-①P4、5、21~31

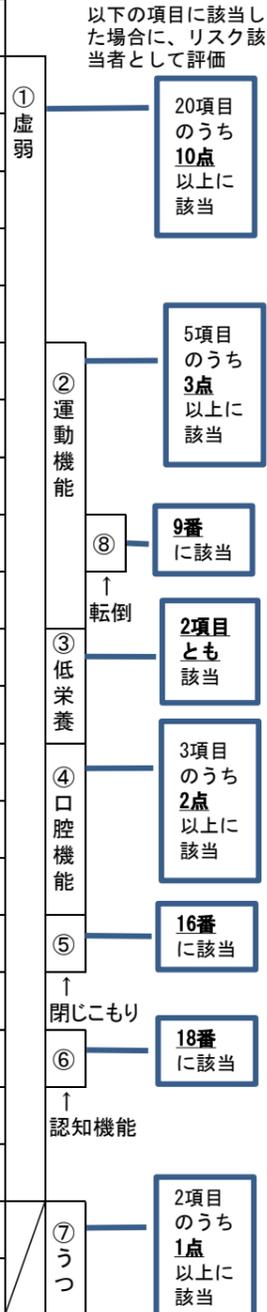
リスク該当者の割合

○リスク該当者とは

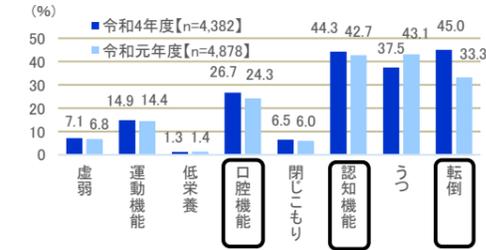
日常生活の状況を把握するための設問から、①虚弱、②運動機能、③低栄養、④口腔機能、⑤閉じこもり、⑥認知機能、⑦うつ、⑧転倒のリスクに該当すると評価された者

○各リスクの評価に用いた設問と点数評価

No.	設問	回答と点数
1	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車で可)	できない(1点)
2	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できない(1点)
3	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できない(1点)
4	友人の家を訪ねていますか	いいえ(1点)
5	家族や友人の相談にのっていますか	いいえ(1点)
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない(1点)
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない(1点)
8	15分位続けて歩いていますか	できない(1点)
9	過去1年間に転んだ経験がありますか	・何度もある又は ・1度ある(1点)
10	転倒に対する不安は大きいですか	・とても不安である又は ・やや不安である(1点)
11	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	はい(1点)
12	身長・体重 ※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)	BMI:18.5未満(1点)
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい(1点)
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい(1点)
15	口の渇きが気になりますか	はい(1点)
16	週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない(1点)
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	・とても減っている又は ・減っている(1点)
18	物忘れが多いと感じますか	はい(1点)
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	いいえ(1点)
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	はい(1点)
21	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい(1点)
22	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい(1点)

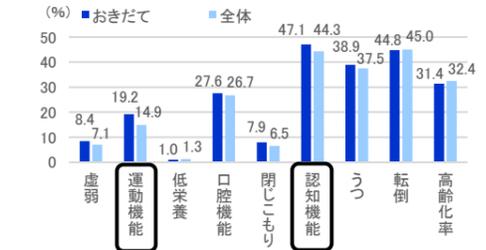


市全体 (回答者数: 4,382人)



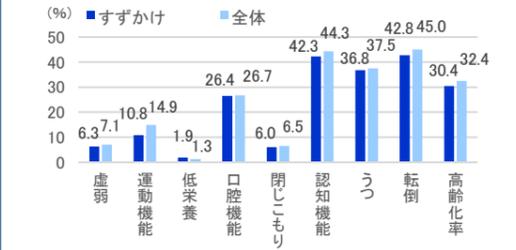
転倒、認知機能、口腔機能のリスク該当者の割合が前回より高い傾向がみられる。

1 圏域 おきだて (回答者数: 391人)



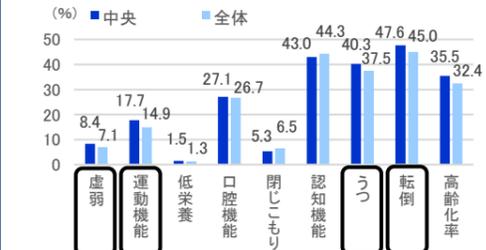
認知機能、運動機能のリスク該当者の割合が市全体より高い傾向がみられる。

2 圏域 すずかけ (回答者数: 416人)



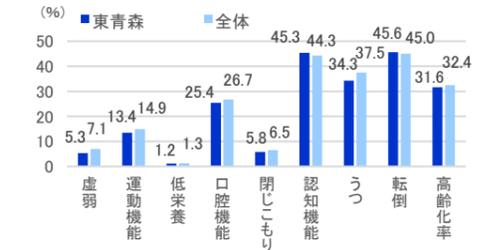
リスク該当者の割合は概ね市全体より低い傾向がみられる。

3 圏域 中央 (回答者数: 395人)



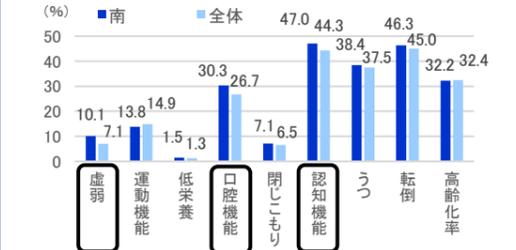
転倒、うつ、運動機能、虚弱のリスク該当者の割合が市全体より高い傾向がみられる。

4 圏域 東青森 (回答者数: 417人)



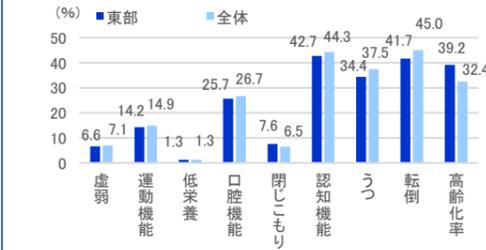
リスク該当者の割合は概ね市全体より低い傾向がみられる。

5 圏域 南 (回答者数: 406人)



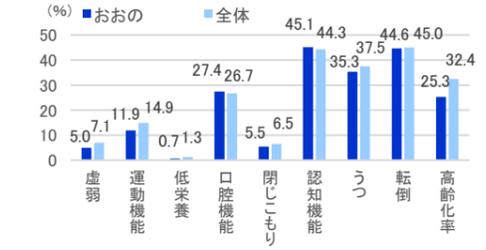
認知機能、口腔機能、虚弱のリスク該当者の割合が市全体より高い傾向がみられる。

6 圏域 東部 (回答者数: 393人)



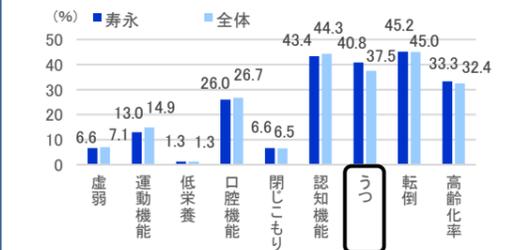
リスク該当者の割合は概ね市全体より低い傾向がみられる。

7 圏域 おおの (回答者数: 419人)



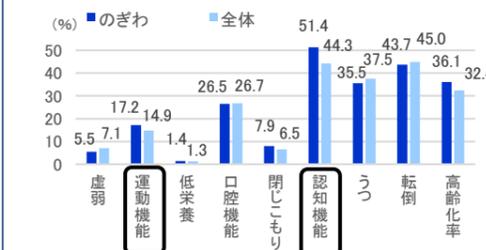
リスク該当者の割合は概ね市全体より低い傾向がみられる。

8 圏域 寿永 (回答者数: 392人)



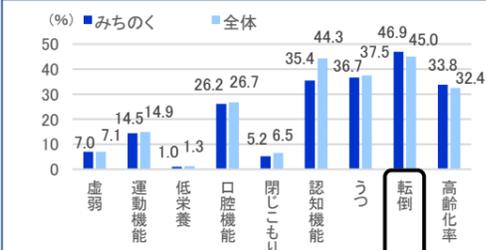
うつのリスク該当者の割合が市全体より高い傾向がみられる。

9 圏域 のぎわ (回答者数: 366人)



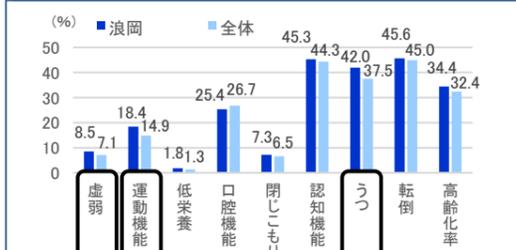
認知機能、運動機能のリスク該当者の割合が市全体より高い傾向がみられる。

10 圏域 みちのく (回答者数: 401人)



転倒のリスク該当者の割合が市全体より高い傾向がみられる。

11 圏域 浪岡 (回答者数: 386人)

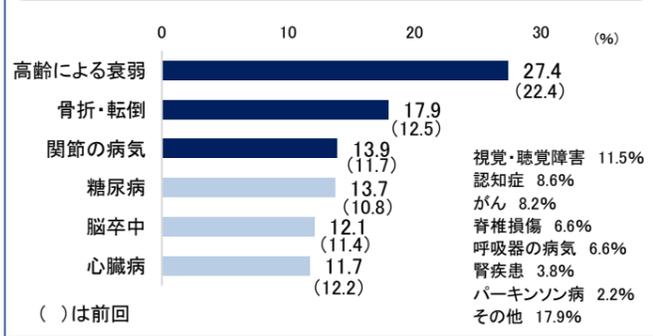


うつ、運動機能、虚弱のリスク該当者の割合が市全体より高い傾向がみられる。

市全体では、転倒、認知機能、口腔機能のリスク該当者の割合が前回よりも高くなっているほか、うつのリスク該当者の割合が前回よりも低くなっているものの依然として高い割合となっていること、他のリスクも横ばい傾向にあることなどから、リスクを減らすための取組が求められる。

## 2 介護・介助の原因

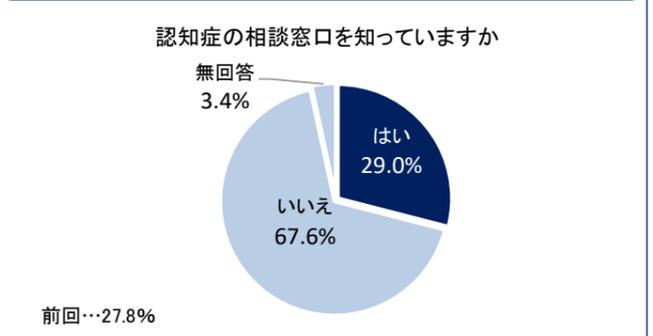
資料2-①P10



介護・介助の原因について、「高齢による衰弱」「骨折・転倒」「関節の病気」の割合が高く、また、前回より増加傾向となっている。

## 3 認知症の相談窓口の認識

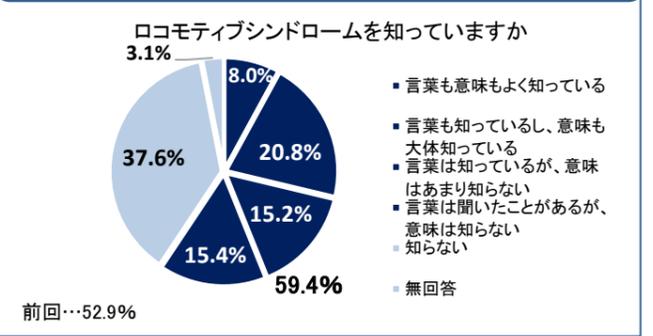
資料2-①P11



認知症の相談窓口について、知っている人の割合は全体の約3割で、前回より増加傾向となっていることから、徐々に浸透してきていることがうかがえる。

## 4 ロコモティブシンドロームの認識

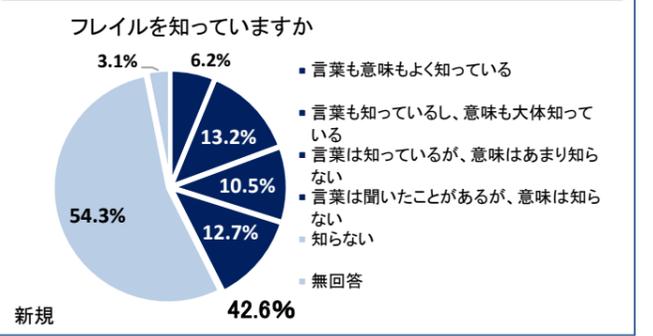
資料2-①P12



ロコモティブシンドロームについて、知っている・聞いた事がある人の割合は全体の約6割で、前回より増加傾向にあることから、徐々に浸透してきていることがうかがえる。

## 5 フレイルの認識

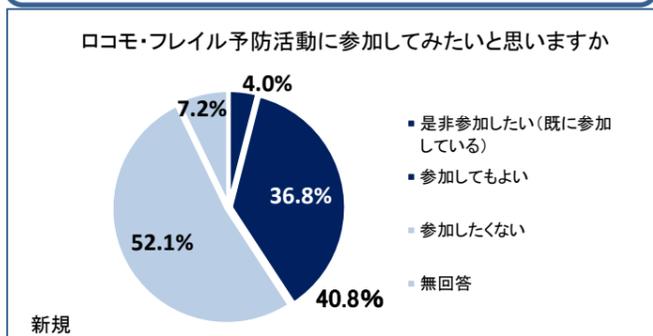
資料2-①P13



フレイルについて、知っている・聞いた事がある人の割合は全体の約4割となっている。

## 6 ロコモ・フレイル予防活動への参加

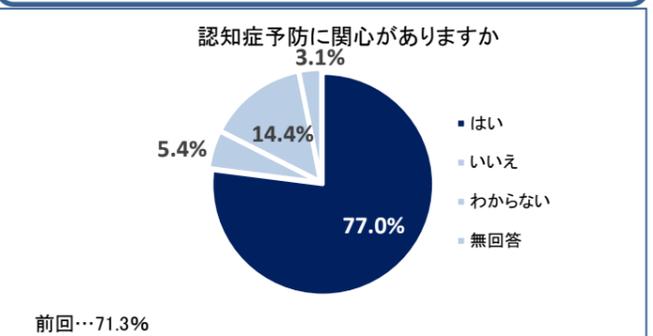
資料2-①P14



ロコモ・フレイル予防活動について、参加したい・してもよい人の割合は全体の約4割となっている。

## 7 認知症予防への関心

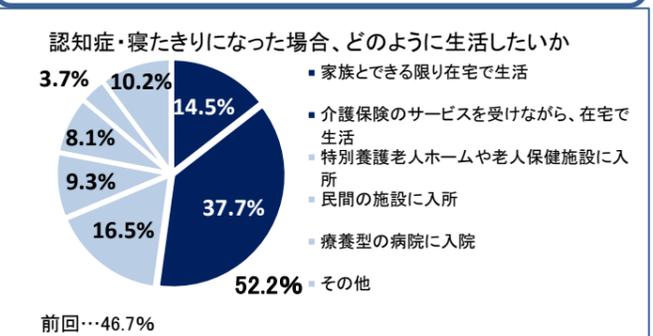
資料2-①P15



認知症予防について、関心がある人の割合は、全体の約8割で、前回より増加傾向にあることから、関心が高まってきていることがうかがえる。

## 8 介護生活に対する希望

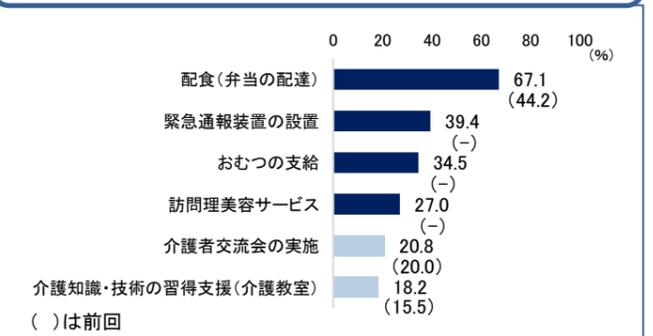
資料2-①P16



認知症・寝たきりになった場合の生活について、在宅での生活を希望する者の割合は前回より増加傾向となっている。

## 9 介護生活に必要な支援(保険外サービス)

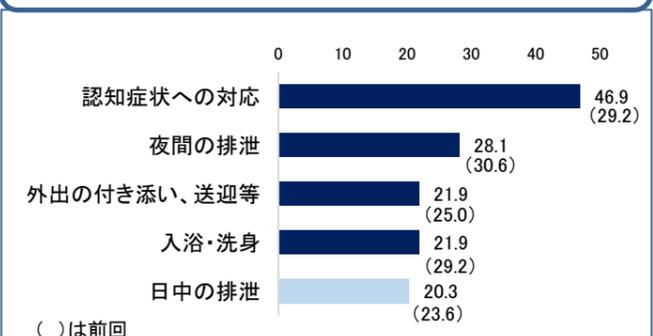
資料2-①P17



現在の住まいで生活するための必要な支援(保険外サービス)について、「配食」「緊急通報装置の設置」「おむつの支給」「訪問理美容サービス」の割合が高くなっている。

## 10 介護者が不安に感じる介護(要介護3以上)

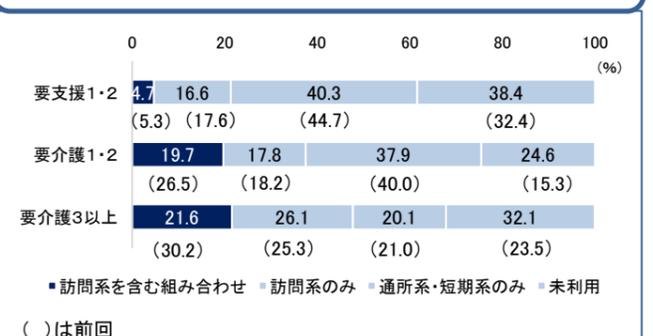
資料2-②P4



介護者が不安に感じる介護(要介護3以上)について、「認知症状への対応」「夜間の排泄」「外出の付き添い・送迎等」「入浴・洗身」に不安を感じている介護者が多い傾向がみられる。

## 11 サービス利用の組み合わせ(要介護度別)

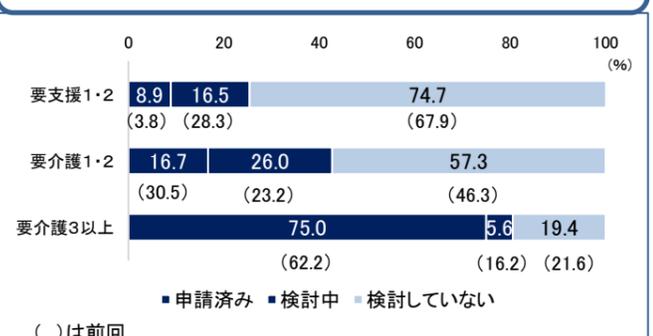
資料2-②P5



サービス利用の組み合わせについて、要介護度の重度化に伴い、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっている傾向がみられる。

## 12 施設等の検討状況(単身世帯)

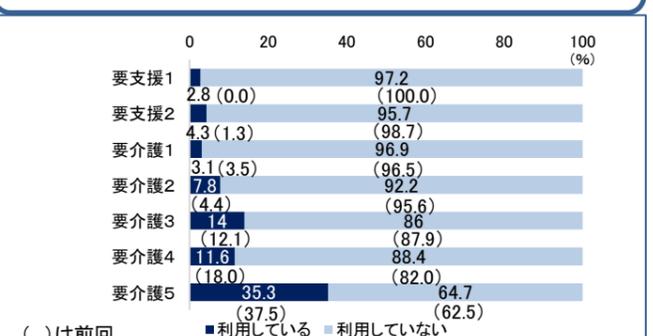
資料2-②P11



施設等の検討状況について、要介護3以上の単身世帯では、要介護度の重度化に伴い、施設等を「申請済み」「検討中」の割合が高くなっている傾向がみられる。

## 13 訪問診療の利用状況(要介護度別)

資料2-②P12



訪問診療の利用状況について、要介護度の重度化に伴い、訪問診療の利用割合が高くなっている傾向がみられる。